

事業所名	従業員数	所在地	支援テーマ	支援回数
(株)川瀬農園	3名	新潟県新発田市	法人化、経営継承	専門家派遣回数 5回

## 相談内容・現状課題

### ■相談内容

経営者(親)からの経営継承を検討する中で、経営全体や現有資産を明確化し、将来の雇用確保に対応できる経営を目指して法人化したいが、整理・検討が必要な内容や具体的な事務手続きについて専門家から支援を受けたい。

### ■現状課題等

- ① 経営の内容や資産の明確化と併せて家計と経営の分離が必要
- ② 法人化に伴う土地、建物、機械等の個人資産の取扱方法、借地等の対応が不明
- ③ 米の独自販路の拡大を図るため、取引先としての信用度の向上が必要
- ④ 雇用者を確保できる経営計画策定と経営改善(水稻部門以外の拡大)



商談会参加時の信用度の向上

## 相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

### ■支援内容

- 1 支援チームの編成  
中小企業診断士、普及指導員  
(ほか具体的手続き時に司法書士、税理士へ依頼)
- 2 支援内容  
対外信用度、雇用確保の観点から法人形態は株式会社を選択することで相談者が納得の上、以下の支援を実施。  
(1)法人化支援
  - ・法人化に際しての経営内容、資産の明確化、家計との分離、個人資産の取扱いに関する指導・助言
  - ・地域の関係者・地主への周知など、ステークホルダーへの対応方法の指導・助言
  - ・法人設立に向けた事務手続きやスケジュール、定款内容など設立する法人の体制に関する支援
- (2)登記に係る支援
  - ・中小企業診断士を通じて、司法書士による定款など法人登記に関する各種書類の作成支援
- (3)法人の会計処理、経営計画策定支援
  - ・法人の会計処理の基本(個人経営との違い)について説明。令和元年決算を基にした法人化初年度の経営計画の策定や経営管理手法の指導、助言
  - ・雇用者の確保に際しての留意点や常時雇用のための経営改善、水稻部門以外の強化の必要性について助言



加工部門(甘酒)の強化を検討

## 支援の成果・その後の状況

### ■支援の成果・その後の状況

令和2年1月に株主3名による株式会社を設立。法人化によって地域の関係者、地主、米の取引先等への信用度が向上するとともに、親から子(現・代表取締役)に経営継承が行われ、地域の重要な担い手の育成に寄与した。  
また、家計と経営が分離されたことで経営状況が明確となり、キャッシュフローの把握によって経営の安定化が図られるとともに、月別経営計画や生産原価管理の必要性が理解できたことで、今後、雇用する際の経営判断基準が明確となった。

### ■コーディネーター所感

各種手続きのスケジュールを明確にすることで中小企業診断士による検討事項への支援・支援対象者の検討が効率的に進み、法人設立まで円滑に進めることができた。  
米の販路拡大に伴う保管施設の充実や、財務諸表等を活用した定期的な経営分析等が行われることで、今後のより一層の経営発展を期待する。